

一括交付金で地域は変わる カギは住民みんなの話し合い

地域 地域づくり一括交付金
制度が4月1日から

スタートし、市内17地区のうち8地区で活動し始めています。しかし、まだこの新制度へ移行していない地区を含め、市民一人ひとりにこの新制度で変わることやメリット、デメリットなどが周知できていないのが現状です。

そこで、あらためて「地域づくり一括交付金制度」の特徴を紹介。市民一人ひとりに一括交付金で「地域の何が変わるのか」を理解していただき、より「安心して暮らせる」「住み続けたい」と思える地域を、住民同士の話し合いでつくっていただければと思います。
一括交付金の最も特徴的

な点は「自由度」です。これまで地域の活動に対する補助金は、市が予算、地域間のバランスなどを考慮しながら配分・決定して

きました。しかし、それでは本当に必要なときに、必要なことができないといった問題が起きます。そこで、住民で話し合い、地域の事情や特色に合った使い方を決めることができる制度に変えることにしました。それが「一括交付金」です。

8地区では、みんなで相談、工夫しながら、一括交付金を生かした活動に取り組んでいます。「地域でできることは、地域で話し合いう、自主性を重視したまちづくりが期待されます。

住民みんなで話し合い活動しています



防犯



1

地域活性イベント



3

環境美化

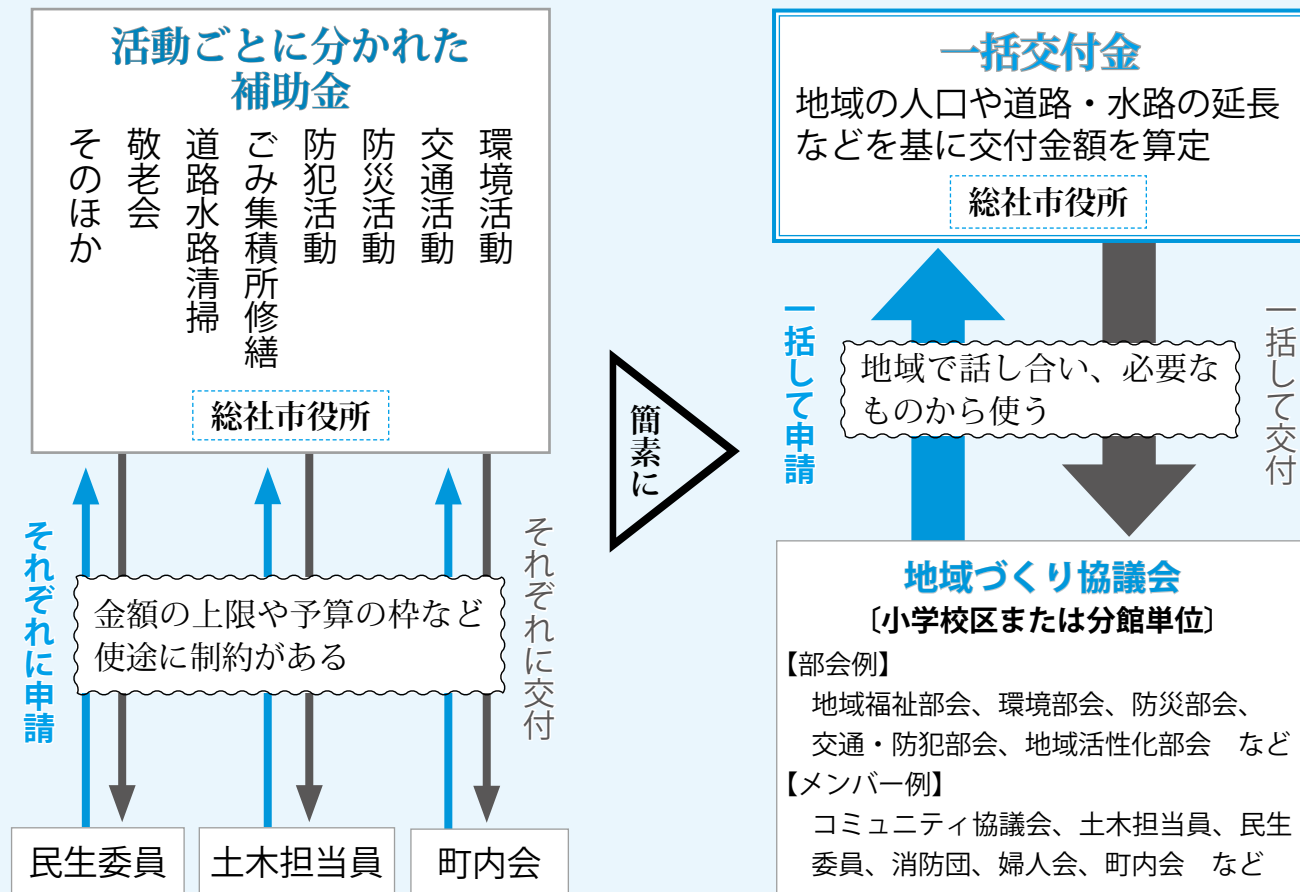


4

防災

① 秦下自治会では、老朽化したごみステーションを建て替えた。自治会長の河西正樹さん（秦）は、「地域のみんなで協力して使いやすいものができました」と話す ② 総社北小学校区地域づくり協議会の防犯部会では、人の集まる場所の防犯パトロールを実施した ③ 神在コミュニティ協議会では神在納涼まつりを開催した ④ 長良地区コミュニティ協議会では、自主防災組織での炊き出し訓練を行った

一括交付金制度で変わる お金の流れるシステム



一括交付金制度による メリット○ デメリット△

◆地域づくり協議会

横の連携	○	地域のいろいろなことを話し合える場ができることで、そこに生活する人の顔が見え、安心して生活できる環境になります。
役員の負担	△	1年に何回か話し合いをしていただくようになりますが、役員間で情報を共有し、課題の解決に共にあたることができます。
事務負担	△	会計や事務をする人に負担が掛かります。ただし、市もできるだけのサポートをしています。
優秀な人材発掘	○	これまで気が付かなかった地域の優秀な人材の発掘・育成につながります。

◆町内会 安心度



近隣の町内会や委員の人たちとの連携が生まれ、安心して効率的な町内会活動を行うことができます。

◆行政 スリム化



行政のもっている権限を地域に譲っていくことで、職員の削減、財政負担の軽減など、行政をスリム化することができます。

もし分からないことがあればご遠慮なく、人権・まちづくり課までご連絡ください。町内会や各種団体などへ説明に伺わせていただきます。

問い合わせ 人権・まちづくり課国際・交流推進係（☎08242）